



2018

新年明けましておめでとうございます！感染対策チームは2018年も感染伝播防止、抗菌薬適正使用の推進など、精力的に活動していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

インフルエンザについて



インフルエンザについてです。新年を迎え、いよいよインフルエンザの本格的な流行の時期が近付いてきました。薬局サーベイランス (<http://prescription.orca.med.or.jp/kanjyasuikei/index.html>) によると、2017年第52週(12月25日～31日)の全国でのインフルエンザの推定患者数は約57万人と12月としては大きな流行となっています(図1)。現在は2018年の第1週ですが、冬季休暇明けの第2週以降にインフルエンザの患者数は急増し、インフルエンザの流行は本格化していくものと予想されます。

インフルエンザの流行期間中には様々な基礎疾患を持った方の状態が悪化し、肺炎球菌等による二次性の細菌性肺炎が増加し、社会全体の死亡率が増加する(これを超過死亡といいます)とされています。また、**乳幼児施設や高齢者施設でのインフルエンザの集団発生、病院内での集団発生等は全国いたるところで発生していて、この中津医療センターも例外ではありません。**これからの時期、**職員の皆さんは発熱や上気道炎症状等のインフルエンザ様症状を放置したままで勤務することは『厳禁』です。**日々自らの体調のチェックに留意してください。(感染管理室 安井良則)

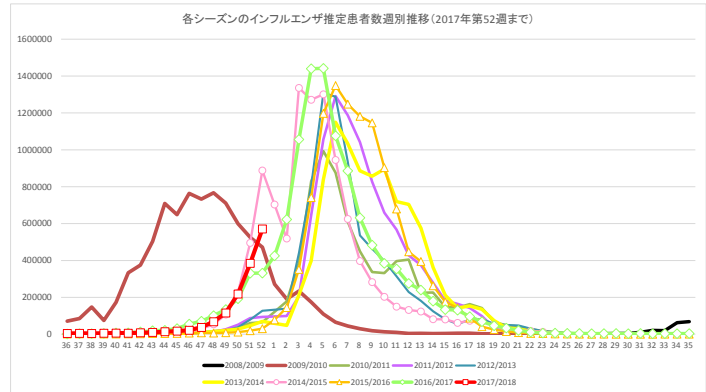


図. 過去6シーズンと今シーズン(2017/2018シーズン)のインフルエンザ推定患者数の週別推移(2017年第52週まで)

ICT勉強会「N95マスクを正しく装着しよう！」を開催しました

結核患者の対応に欠かせない【N95マスク】の装着が正しく行えているか、自分に合ったサイズのマスクを選んでいるかなどを知ることを目的に、12月11・12日の2日間で勉強会を開催しました。

まずDVDを視聴し、そのあと機械を使ってN95マスクの装着状況を確認。機械では漏れ率を測定し、どこから漏れているのか、そもそもサイズが合っているのかなどをチェックします。医師・看護師・検査技師・事務員など、日頃多くの結核患者さんの対応に当たっている皆さんを中心に、2日間で計58名(医Ⅰ11名・医Ⅱ12名・看護30名・事務5名)の方々にご参加いただきました。**N95マスクは今後新型インフルエンザが発生することがあった場合にも使われるものであり、直接診療に当たる医師・看護師だけでなく、全ての職種が装着する機会があるかもしれません。**人気のある測定器でなかなか借りるのが難しいのですが、また開催して更に多くの皆さんにN95マスクと向き合う機会を設けたいと思いますので、今回参加できなかった皆さん、次回の参加をお待ちしております！

ICT勉強会のご案内
～N95マスクを正しく装着しよう～

大阪市は全国でも最も結核患者の多い都市です。そんな結核患者への対応に欠かせない【N95マスク】。結核患者を含む空気感染対策にはN95マスクを正しく選択し、正しく着用することが重要です。皆さんは正しく装着できていますか？

今回、機械を使って実際の漏れ率を測定し、本当に正しく装着できているか、また正しいサイズのマスクを選択できているかを検証する機会を設けました！

日頃結核患者に対応する場面の多い部署の皆さん、この機会に一度N95マスクについて、正しい装着方法なども含め体感してみませんか。ご興味のある方はどなたでも参加可能です。皆さんの参加をお待ちしております。

【日時】 平成29年12月11日(月) 同日とも同じ内容です
12月12日(火)
両日ともに17:30～18:30

【場所】 中津12階第1会議室・第2会議室

【対象】 どなたでもご参加いただけます

【協力】 3Mジャパン ヘルスケアカンパニー

主催：感染対策チーム

まずはDVDを視聴
見ながらN95マスクを装着します

続いて機械による漏れ率を測定し、正しく装着できているかチェックします

漏れがある場合は、どこが漏れているか確認して調整し、もう一度チェックします



日頃N95マスクを使う機会が多い部署の方々、漏れ率も少なく装着が上手です！やはり日常の訓練が重要ということなのでしょうか？！ 皆さん楽しそうに演習しています。